



常呂川森林ふれあい推進センター

常呂川森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育に取組む企業・学校・NPO等の活動支援や技術指導を行うとともに、関係団体・市町村の林務担当等と連携して、森林ふれあい活動に取り組んでいます。

今回は、当センターが関係団体・北見市と連携して行った取組を紹介します。

森林フェスティバル

平成30年7月28～29日に網走市駒場「木のひろば」で、第5回「オホーツク森林フェスティバル」が約二百名の参加者のもと開催され、当センターでは、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得て、丸太切り体験と竹とんぼづくり及びマツボックリのクラフトなどを担当しました。

この催しは、「オホーツク森林フェスティバル」実行委員会（事務局・オ

ホーツク総合振興局東部森林室）が、森林の魅力に触れながら、みどりを守り、みどりに親しむことを目的に開催しています。当日は、「オホーツクみどりネットワーク」に加盟するボランティアや民間団体、関係行政機関などが様々な催しで来訪者を迎えました。



マツボックリのクラフト

野外のイベントでしたが両日とも気温が高く、特に29日は35度を超える猛暑日となり、教える方も教わる方も汗だくになりました。

北見市 環境ウォッチング

平成30年7月31日に北

見市緋牛内国有林の「森の家」周辺で北見市の主催で「北見市環境ウォッチング」が開催され、当センターと森林ボランティア「オホーツクの会」が協力しました。



双眼鏡を使って動物(カード)探し

この催しは、自分たちの住んでいる近隣の森林や川にふれあい、そこで生息する生き物に焦点をあて、身近な自然を大切にする心や行動を養っていくことを目標に行われたものです。

当日は、地元小学生高学年20名に加え、北見北斗高校のサイエンスクラブもサポーターとして参加しました。

午前中は、「森の家」の裏山での森林探検で高校

生にも各関門のスタッフとして活躍していただきました。

午後からは、「森の家」の裏の小川で、北見市の職員とサイエンスクラブが担当して、子どもたちが採取した魚や水中昆虫などの水生生物を顕微鏡や図鑑で確認し、小川に多くの生物がいることを確認しました。



小川の水生生物を観察・採取

「環境ウォッチングは、自然に興味を持ち、その変化に関心を持つことが目的です。今日の体験を通じて、そのことが皆さんの心に残ったと思います。」との主催者のまとめで有意義な一日を終えました。